

. 調査結果

1. 環境の状況についての実感 (問1)

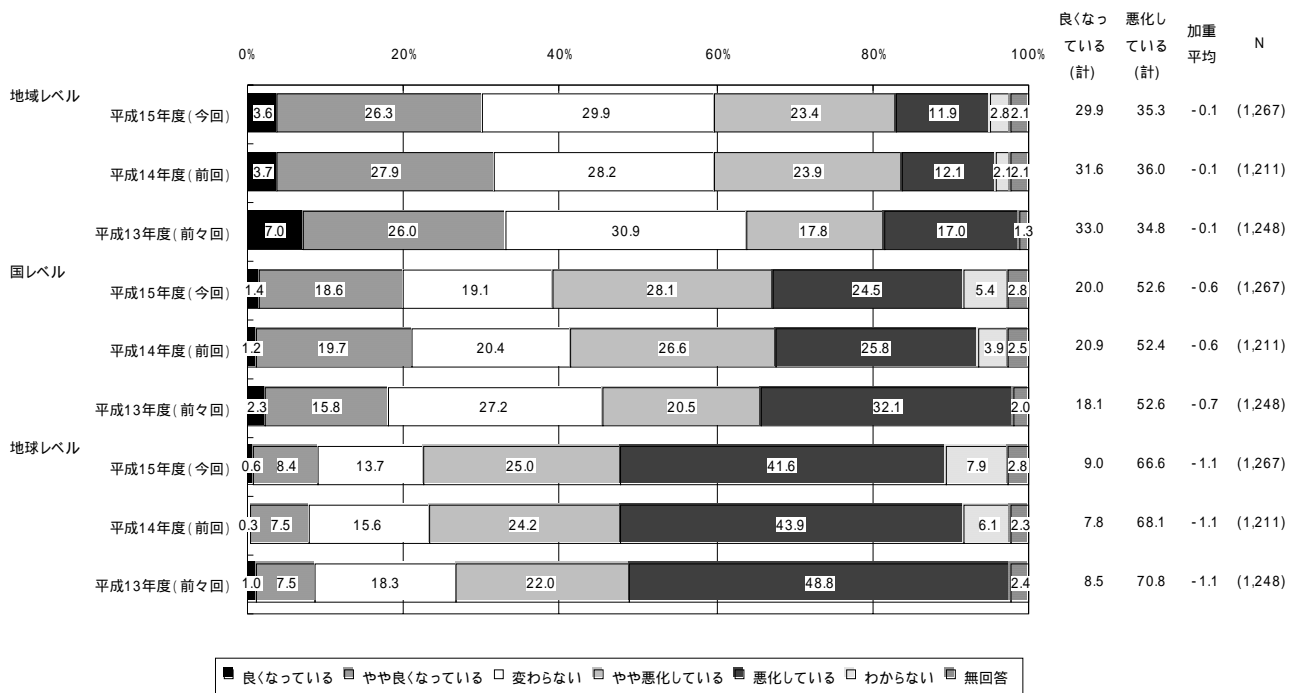
1-1 地域レベル、国レベル、地球レベルでの環境の実感 (比較)

環境悪化を実感する比率は、全体として大きく変わっていないが、地球レベルでの環境が「悪化している」「やや悪化している」とみる人の比率は67%であり、依然として高い。

近年の環境の状況についての実感を地域、国、地球の3レベルに分けて尋ねたところ、良くなっている(「良くなっている」「やや良くなっている」の合計)と実感する人の比率は、地域レベルで30%、国レベルで20%、地球レベルで9%となっている。前回(平成14年度)前々回(平成13年度)の調査と比較して、地域レベルで良くなっていると実感する比率がわずかではあるが継続して低下している。

一方、悪化している(「悪化している」「やや悪化している」の合計)と実感する人の比率は、地域レベルは35%にとどまっているが、国レベルは53%、地球レベルで67%と過半数を超え、国や地球レベルの環境悪化を実感する比率が高い。前回、前々回の調査と比較すると、地球レベルの環境悪化を実感する比率がわずかではあるが継続して低下している。

【図表 1-1】地域レベル、国レベル、地球レベルでの環境の実感 (全体、時系列)



注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

1 - 2 地域レベルでの環境の実感

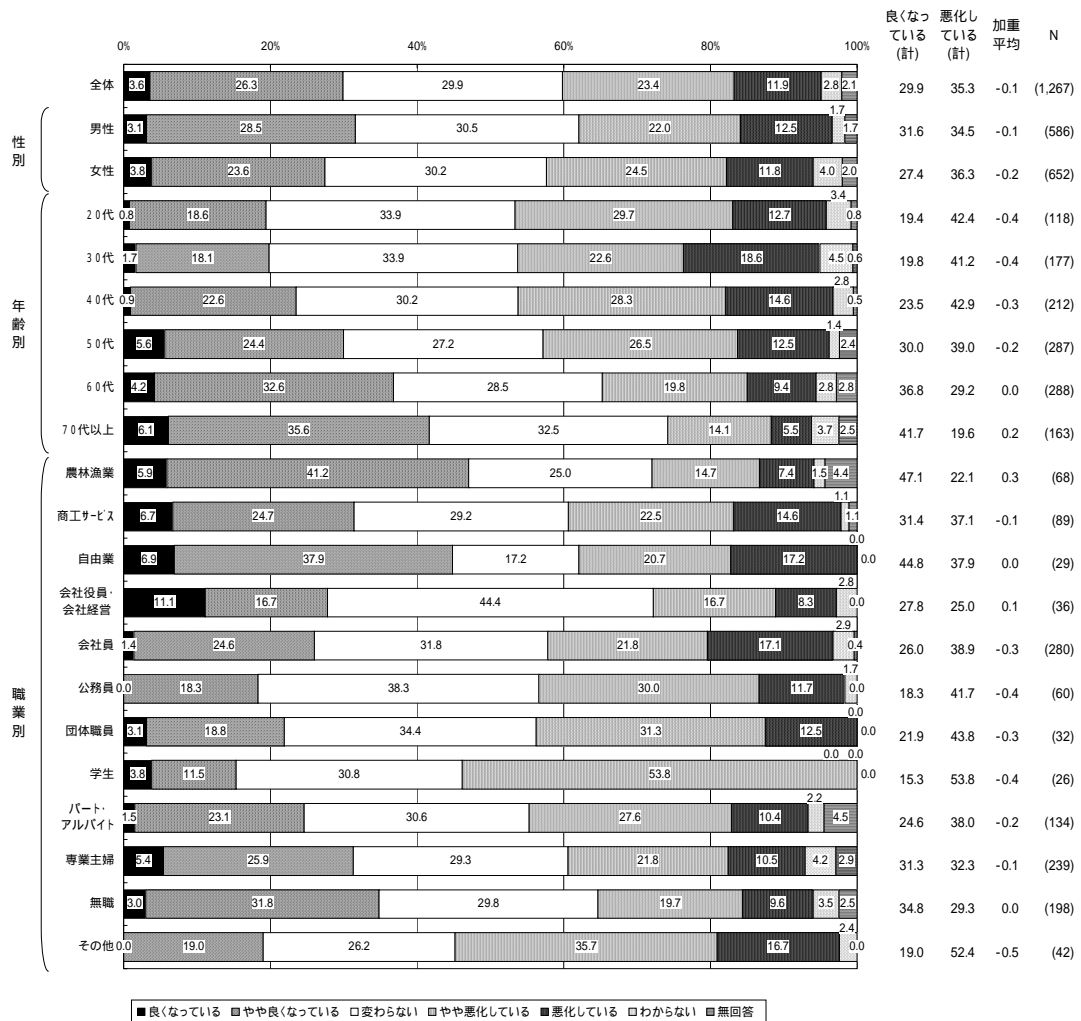
地域レベルでの環境悪化を実感する比率は、男性よりも女性の方がやや高い。年齢別には高年層よりも若年層、職業別には学生、その他で環境悪化を実感する比率が高い。

地域レベルでの環境について、良くなっていると実感する人の比率は、女性よりも男性の方が高い。

年齢別では、良くなっていると実感する人の比率は、概して年齢の上がるほど増加する傾向にある。特に60代以上では、良くなっていると実感する人の比率が悪化している人と実感する人の比率を上回る。逆に40代以下では、良くなっていると実感している人は全体と比べ少ない。

職業別では、農林漁業、自由業が良くなっていると感じており(47%、45%)、悪化していると実感する人の比率が良くなっていると実感する人の比率を上回るものは、商工サービス、会社員、公務員、団体職員、学生、パート・アルバイト、専業主婦、その他である。中でも学生、その他は「悪化している」とする比率が54%、52%と、他の層よりも高い。

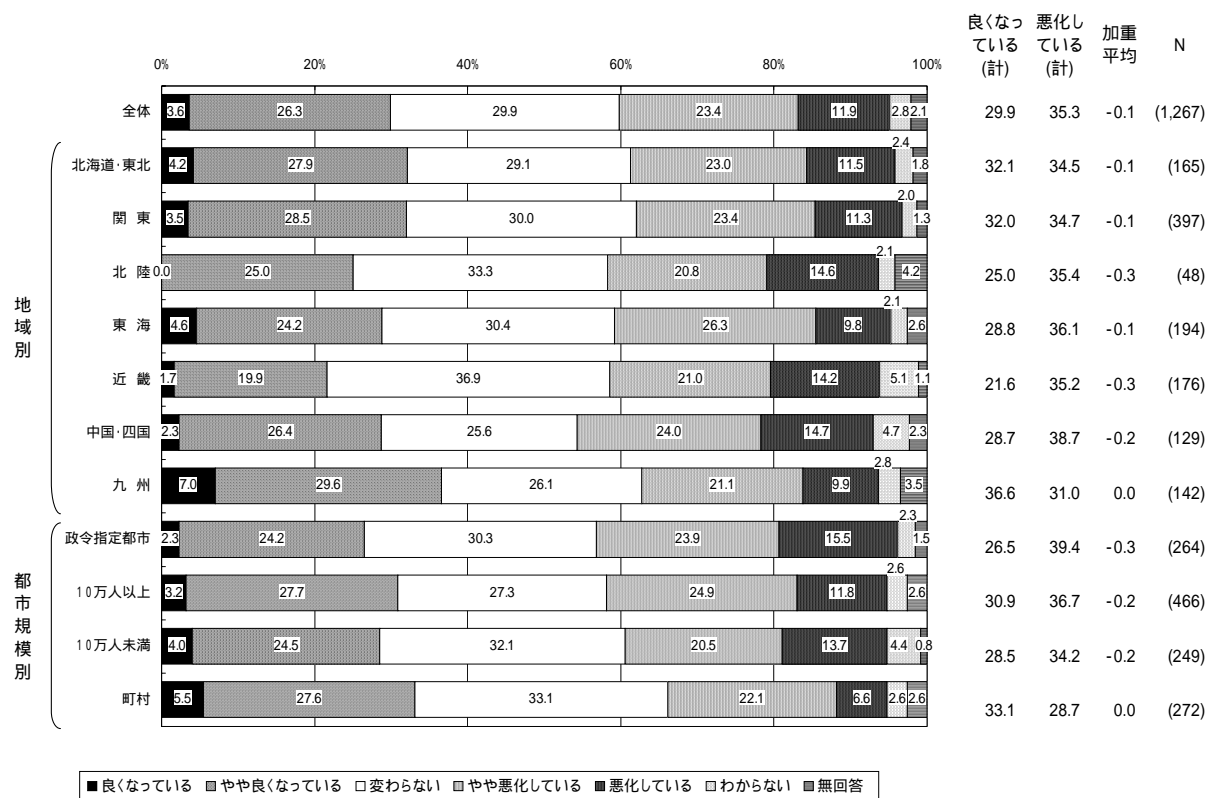
【図表 1-2】地域レベルでの環境の実感（性別、年齢別、職業別）



注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

地域別にみると、良くなっていると実感する人の比率は、近畿で低く、九州で高い。
 都市規模別では、都市規模が小さくなるほど悪くなっていると実感する人の比率が低下する傾向がみられる。

【図表 1-3】地域レベルでの環境の実感（地域別、都市規模別）



注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

1 - 3 国レベルでの環境の実感

国レベルでの環境悪化を実感する比率は、性別では男性よりも女性、年齢別には高年層よりも若年層、職業別には自由業、公務員、団体職員、学生、パート・アルバイト、その他で高い。

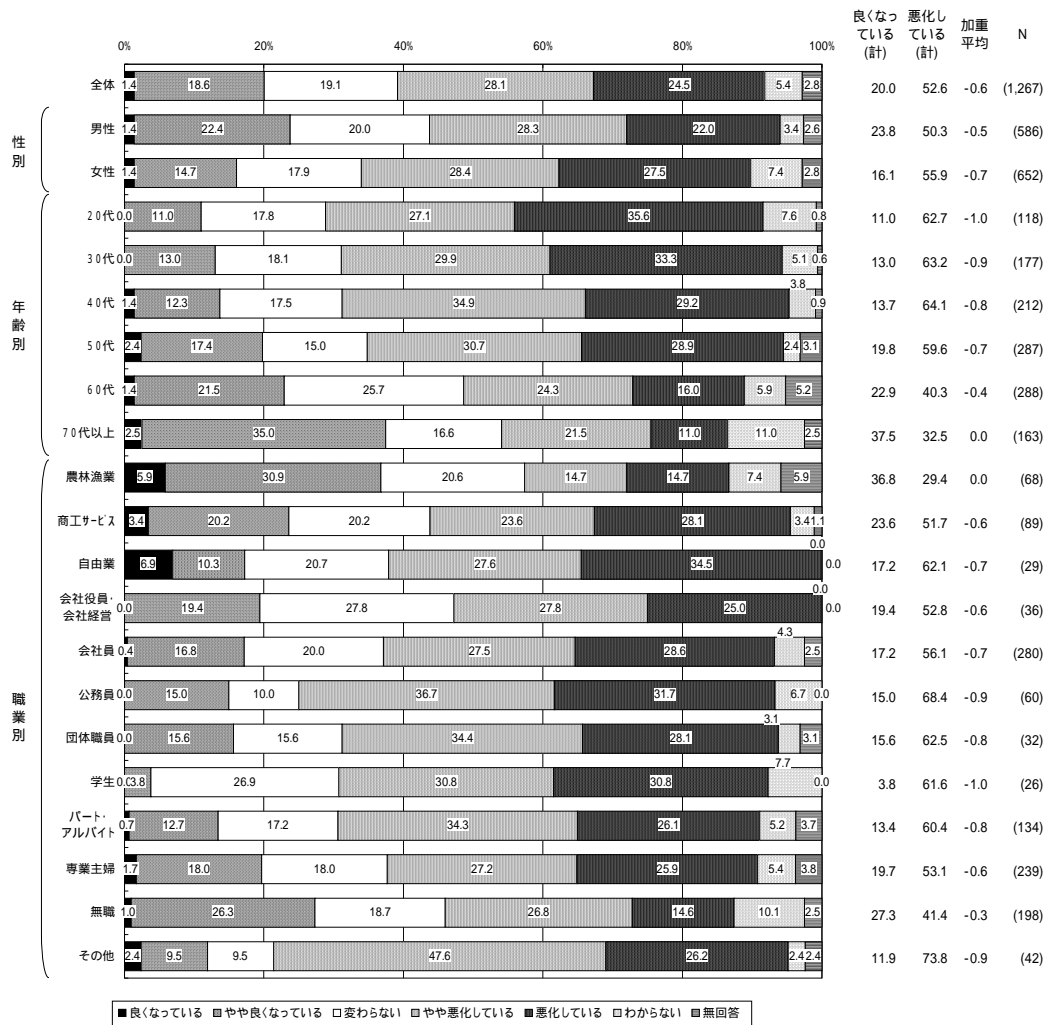
国レベルでの環境については、70代以上と農林漁業を除き性別・年齢別・職業別のいずれの内訳についても、良くなっていると実感する人の比率よりも悪化していると実感する人の比率が顕著に高い。

性別では、良くなっていると実感する人の比率は、女性の方が男性よりも低い。

年齢別では、良くなっていると実感する人の比率は、概して年齢が上がるほど増加する傾向にあり、70代以上では38%を示す。

職業別では、悪化していると実感する人の比率は、自由業、公務員、団体職員、学生、パート・アルバイトで60～68%、その他で74%と高い。これに対し、良くなっていると実感する人の比率は農林漁業で37%と高い。

【図表 1-4】国レベルでの環境の実感（性別、年齢別、職業別）

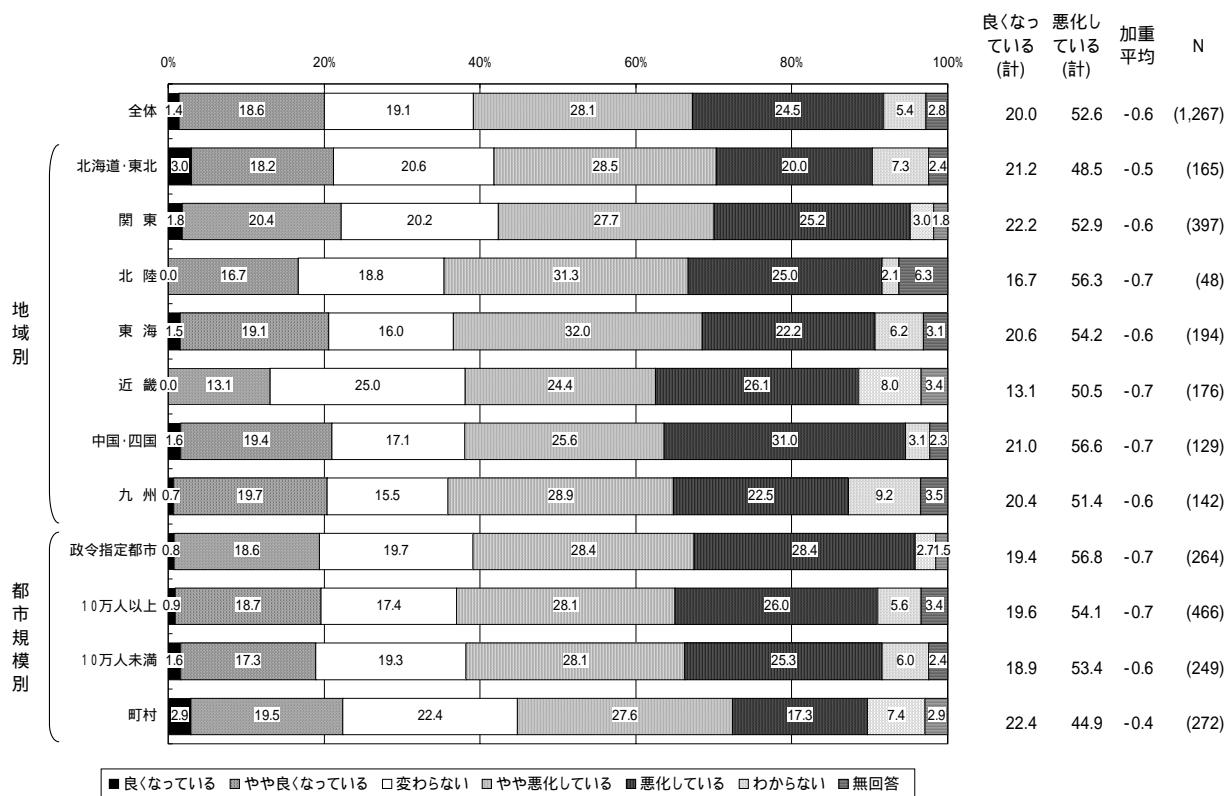


注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

地域別にみると、北陸、中国・四国で「悪化している」と実感している人の比率がやや高い。

都市規模別には、町村で「良くなっている」と実感している人の比率がやや高い。

【図表 1-5】国レベルでの環境の実感（地域別、都市規模別）



注)この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

1 - 4 地球レベルでの環境の実感

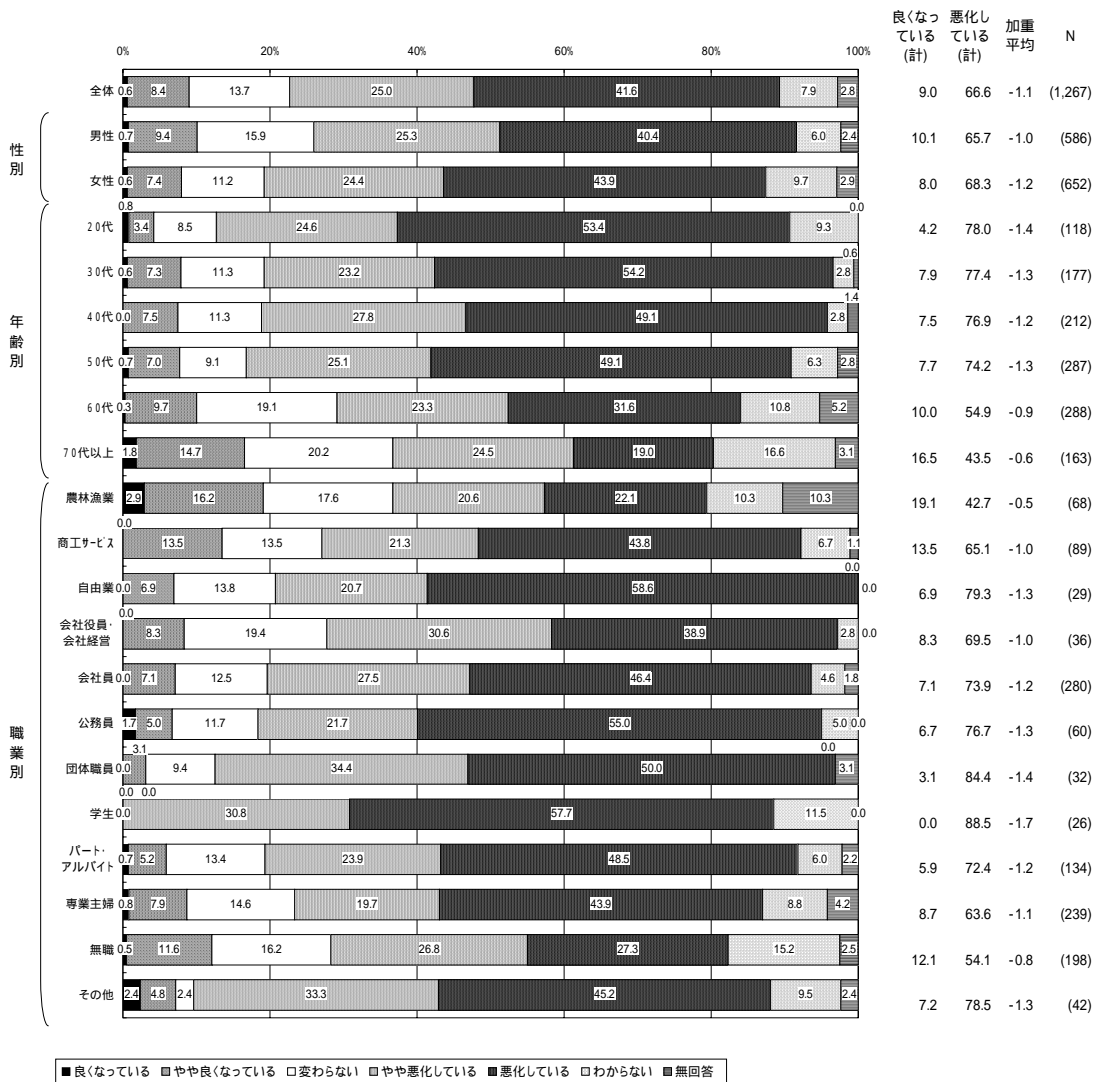
地球レベルでの環境悪化を実感する比率は、高年層よりも若年層、職業別には自由業、公務員、団体職員、学生、その他で高い。

地球レベルでの環境については、性別・年齢別・職業別のいずれの内訳についても、良くなっていると実感する人の比率よりも悪化していると実感する人の比率が顕著に高い。

性別による差はないが、年齢別での環境悪化を実感する人の比率は、概して年齢の上がるほど減少する傾向にあり、60代では55%、70代以上では44%を示している。一方で悪化していると実感している人は全体(67%)に対して、20代(78%)から50代まで(74%)は顕著に高い。

職業別では、悪化していると実感する人の比率が、自由業、会社員、公務員、団体職員、学生、パート・アルバイト、その他で72~89%と高い。逆に農林漁業は良くなっていると実感する人の比率が19%を占めている。

【図表 1-6】地球レベルでの環境の実感（性別、年齢別、職業別）

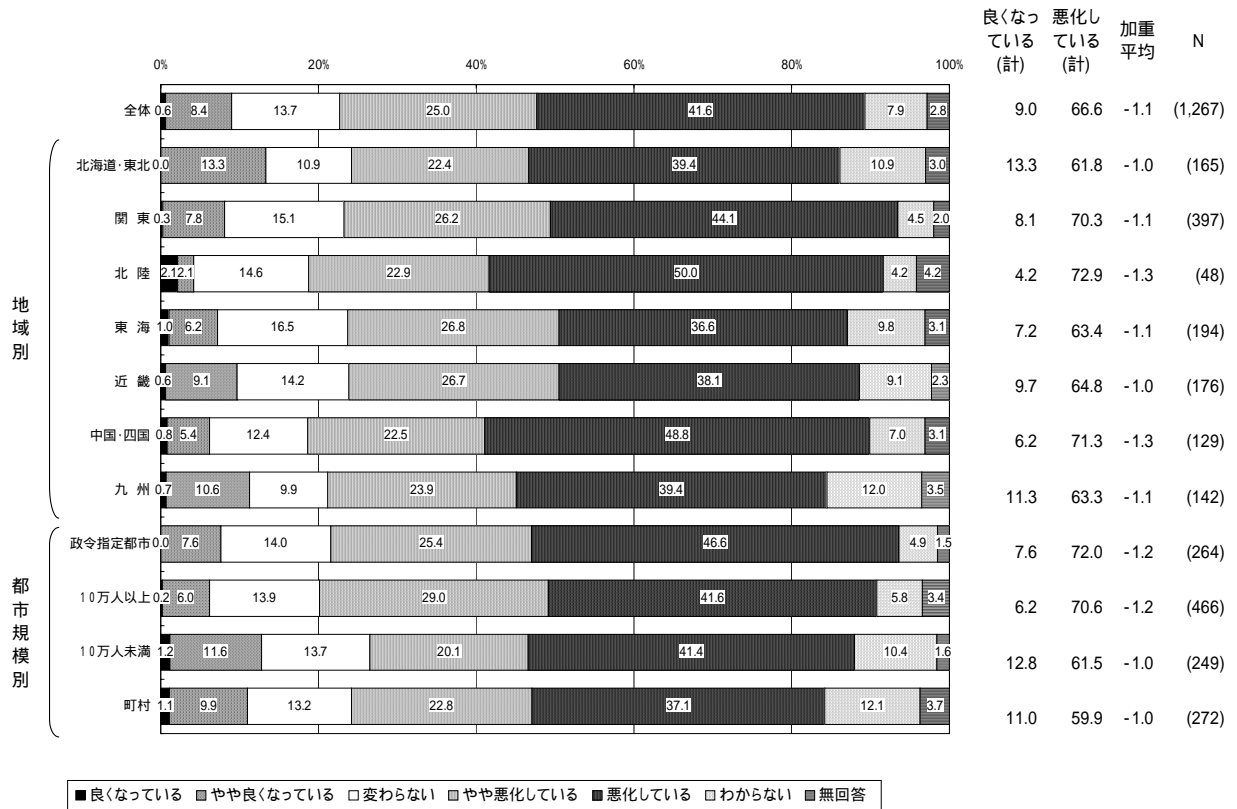


注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

地域別にみると、悪化していると実感する人の比率が北陸でやや高い。

都市規模別には、規模が大きくなるに従い、悪化していると実感する人の比率が高くなる傾向にあり、全体の67%が悪化していると実感しているに対し、政令指定都市では72%を示している。一方、10万人未満(62%)、町村(60%)は悪化していると実感する人の比率が低い。

【図表 1-7】地球レベルでの環境の実感（地域別、都市規模別）



注) この項の加重平均は、「良くなっている」に2点、「やや良くなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。